

化粧品OEMの開発最前線

第一線技術者からの最新提案

近年の化粧品市場では各社を主体とした処方開発が行われており、4人のスタッフ

洗顔石鹸をベースに開発し、固形シャンプーは成分的にも非常にこだわった商品。アミノ酸系の洗浄成分を主体にした弱酸性処方。研究設備は基本的に工場でのスケールアップを前提に、製造設備に併せて導入しており、既存の設備を活用しながら今までも新しい処方開発にも取り組んでいる。——貴社は近年、固形シ

もと、当社の弱酸性の透明

「コロナ禍以前は海外からのインバウンド需要に向けた商品開発の依頼もあったが、コロナ禍以降は状況

来の原料を使った処方開発は、これまで以上に重要になってくると感じている」
——今後予想される市場環境の変化と、それに対する開発方針は。

「今後の開発方針の中では、スキンケア、ヘアケア



——貴社は近年、固形シ

**テクノビュー
ティーツーサンプライ**
研究開発部課長
藤 克吉氏

「貴社の研究開発部門の特徴は。

「当社の研究開発部門では、スキンケア、ヘアケア

「固形シャンプーはもと

「当社ではここ数年、固

肌に優しい処方開発を追求 — 使用感の良い固形シャンプーに自信 —

形シャンプーの開発に注力し提案を進めている。それは別に、新たな開発アイテムとして、基剤の部分で100%石油由来の乳化剤を使用しないボディ及びフェイスメイクを提案していききたい。サラっとした使用感でベタつかず、それでいて肌をしっとりと保湿する処方になっている。環境対応心やサステナブル志向の高まりの中で、植物由来の界面活性剤を使用することは、私自身、業界に入ってから37年になるが、研究開発職として新卒で入社した化粧品会社では当初、人手不足のなかで製造ラインに配属された。工場でのこの商品は何故かという作り方を覚えた。『どうしたらもっと効率的につくれるのか』などを考え取り組んだことが、この研究開発の仕事で役立ったと考えている。ラボでの仕事だけでなくあらゆる現場で自分で考えて行動

「化粧品OEMの開発者であることが大切だと思う」
——貴社でこの数年、固
推広されているので、植物

佐々木・川口